

日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

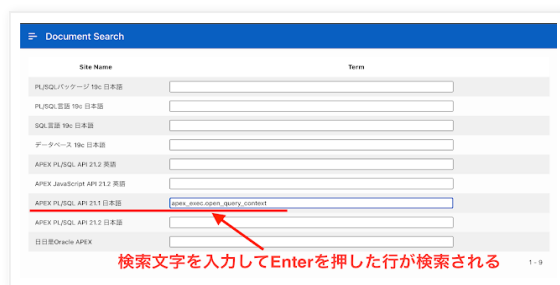
2022年4月6日水曜日

オラクルのマニュアルを検索するアプリを作る

APEXでアプリを作っていると、オラクル・データベースのSQLリファレンスやPL/SQLリファレンス、APEXのリファレンスをよく検索するのですが、そのまま検索すると古いバージョンのマニュアルがヒットします。

siteを指定すれば限定されるのですが指定が面倒なので、siteに指定したいURLをデータベースに登録して、そのサイトに限定して検索を呼び出すアプリを作ってみました。

<https://apex.oracle.com/pls/apex/japancommunity/r/search/>



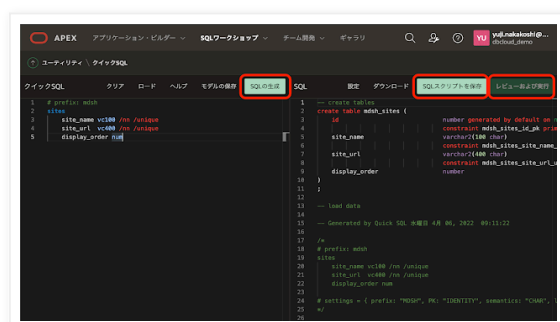
以下、作成手順を紹介します。

最初に検索対象とするサイトを保持する表MDSH_SITESを作成します。

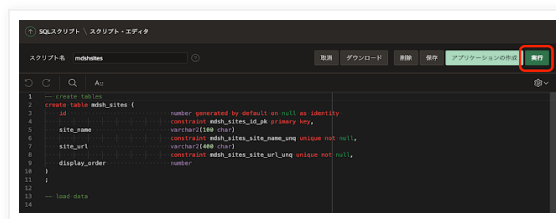
SQLワークショップのユーティリティのクイックSQLを開き、以下のモデルを記述します。

```
# prefix: mdsh
sites
  site_name vc100 /nn /unique
  site_url vc400 /nn /unique
  display_order num
```

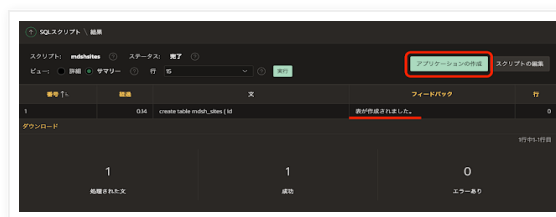
SQLの生成、続けてSQLスクリプトを保存、最後にレビューおよび実行を行います。



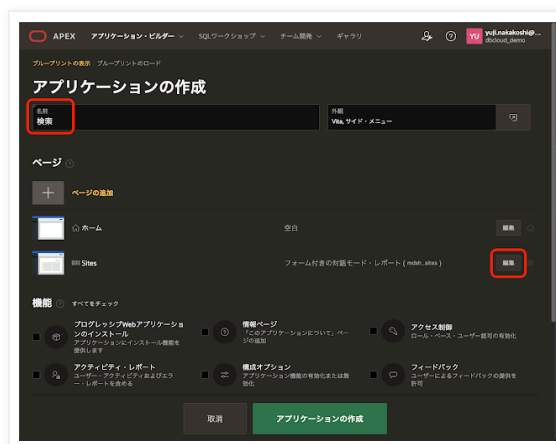
SQLのレビュー画面が開きます。**実行**をクリックし、表MDSH_SITESを作成します。確認画面が開いたら、**即時実行**をクリックします。



表が作成されたのちに、**アプリケーションの作成**を実行します。確認画面が表示されたら、重ねて**アプリケーションの実行**をクリックします。



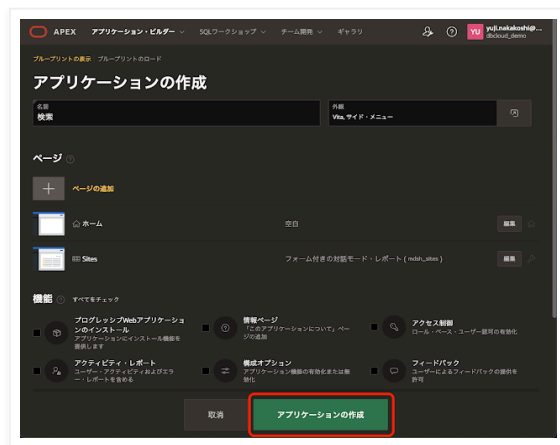
アプリケーション作成ウィザードが開きます。アプリケーションの名前は**検索**とします。表MDSH_SITESへのサイトの登録を管理作業とするため、**Sites**のページの**編集**をクリックします。



詳細をクリックします。**管理ページ**として設定に**チェック**を入れ、**変更の保存**をクリックします。

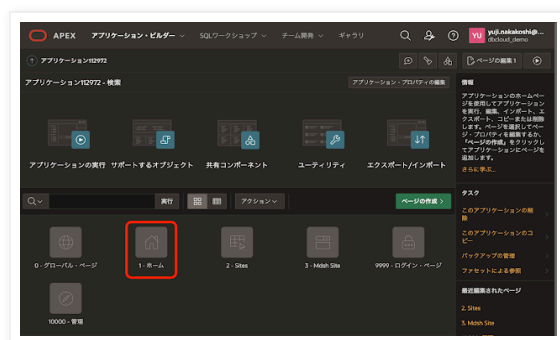


アプリケーションの作成をクリックします。



処理はすべてホーム・ページに実装します。

ページ・デザイナーにてホーム・ページを開きます。

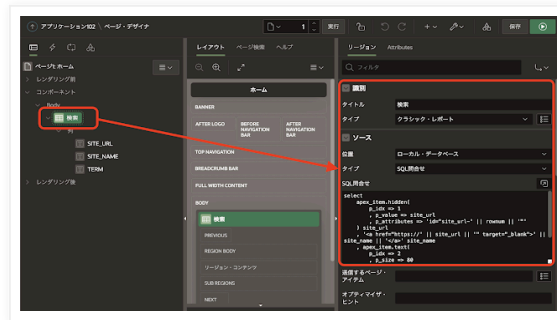


Bodyにリージョンを作成します。

識別の名前を検索、タイプとしてクラシック・レポートを選択します。ソースのタイプをSQL問合せを選択し、SQL問合せに以下を記述します。

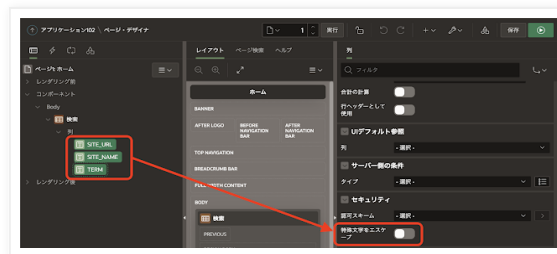
```
select
  apex_item.hidden(
    p_idx => 1
    , p_value => substr(site_url,1,instr(site_url,'/',-1))
    , p_attributes => 'id="site_url-" || rownum || ""
  ) site_url
, '<a href="https://" || site_url || "" target="_blank">' || site_name || '</a>' site_name
, apex_item.text(
    p_idx => 2
    , p_size => 80
    , p_item_label => 'TERM'
    , p_attributes => 'data-term-index=' || rownum
  ) term
from mdsh_sites
order by display_order asc
```

APEXのPL/SQL APIのパッケージAPEX_ITEMを使って、レポートに検索する単語を入力するテキスト・フィールドを作成しています。



ファンクションAPEX_ITEM.HIDDENおよびTEXTはHTMLを生成します。レポートに表示される列の値は、デフォルトではエスケープされ、文字列として表示されます。そうではなくHTMLとして解釈されるようにします。列SITE_NAMEもHTMLを記述しています。

列をすべて選択し、**セキュリティの特殊文字をエスケープ**をOFFにします。



JavaScriptのコードよりクラシック・レポートのリージョンを指定するために、**詳細の静的ID**として**searchDoc**を設定します。



検索する単語を入力してEnterを入力したときに、別画面に検索結果を表示させるJavaScriptのコードを記述します。

ホーム・ページのJavaScriptのファンクションおよびグローバル変数の宣言として、以下のJavaScriptのコードを記述します。

```
// サイトとして設定されているドキュメントを検索する。
var elem = document.getElementById("searchDoc");
elem.addEventListener('keypress', do_search);
// Enterを押したときの列のサイトを検索する。
function do_search(e) {
    if (e.keyCode === 13) {
        let ie = e.srcElement;
```

```

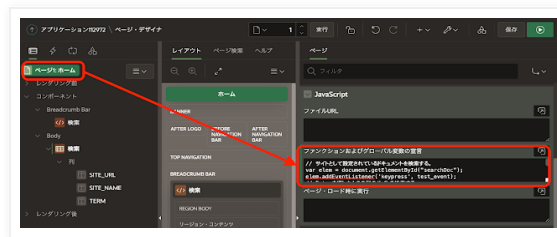
let idx = ie.getAttribute("data-term-index");
let term = ie.value;
let site_url = "site:" + document.querySelector("#site_url-" + idx).value + " ";
let searchUrl = "https://www.google.com/search?q=" + escape(site_url) + term;
console.log(searchUrl);
window.open(searchUrl, "_blank");
}

return false;
}

```

mdsh-javascript.js hosted with ❤ by GitHub

[view raw](#)



列SITE_URLはデータとしては必要ですが（レポート列として非表示にできない）、画面には表示させたくありません。

CSSのインラインに以下を記述し、列SITE_URLを非表示にします。

```

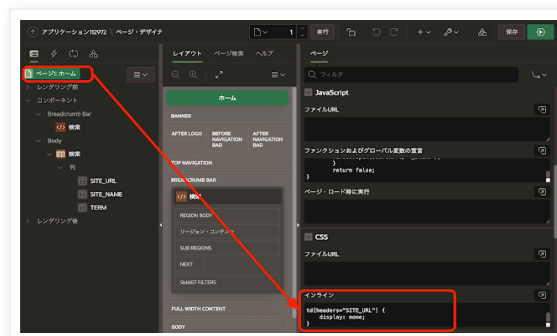
#SITE_URL {
    display: none;
}

td[headers="SITE_URL"] {
    display: none;
}

```

mdsh-hide.css hosted with ❤ by GitHub

[view raw](#)



検索に関する動作の実行は、以上で完了です。

これ以降は、ブレッドクラムの削除や管理ページの構成など、見栄えの調整になります。これらの作業については説明を割愛します。

今回作成したアプリケーションのエクスポートを以下に置きました。

<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/my-document-search.sql>

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 19:06

共有

<

ホーム

>

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.
